

## 令和3年度第2回 東京都北区自立支援協議会 議事要旨

### 1 日時

令和4年1月31日（月）

### 2 議事

- (1) 「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」構築推進のための取組状況について
- (2) 生活介護施設の整備について
- (3) 地域生活支援拠点等の整備状況について
- (4) 連絡事項

### 3 議事の状況

オミクロン株の影響による新型コロナウイルス感染症の急激な新規陽性者数の増加を踏まえ、感染拡大防止の観点から、書面開催として行われた。

- (1) 「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」構築推進のための取組状況について  
資料1に基づき、書面による協議が行われた。
- (2) 生活介護施設の整備について  
資料2に基づき、書面による協議が行われた。
- (3) 地域生活支援拠点等の整備状況について  
資料3に基づき、書面による協議が行われた。
- (4) 連絡事項  
今後の開催予定について、書面により通知した。

### 4 議事の結果

委員から提出された意見とそれに対する回答は、別紙のとおり。

令和3年度第2回 東京都北区自立支援協議会における意見と回答について

1. 「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」構築推進のための取組状況について

No.	意見の要旨	区の考え方
1	具体的な取組の場が、研修という場所を通じて実現されたことに大きな意味があると思います。第2回目の協議の場には参加できなかったのですが、4年度に向けて具体的な計画が定まり、調査やピアサポート活動の推進などの取組が定まってきたことも大きな一歩として素晴らしいことだと思います。	引き続きご理解、ご協力をお願いいたします。
2	社会的入院については、数十年前から指摘され続けている問題です。退院促進について全く何もしてこなかったわけではありません。それでも全く減らないのは何が問題なのか、もう少し明確に出来ると良いとも思います。地域の受け入れ態勢が貧弱なだけでなく、日本の精神医療のあり方から地域までスペクトラムに見ていかなければ、解決していかないようにも思います。	ご意見について、参考にさせていただきます。精神病床における長期入院患者のうち一定数は、地域生活への移行が可能であるとの考えのもと、計画的にも包括の構築及び地域の精神保健医療福祉体制の基盤整備を推進してまいります。
3	高齢入院者数が半数以上おり、とても重要な地域課題だと感じました。	
4	北区は65才以上の単身者割合が半分以上と高く、精神科の退院と同時にケアマネ、ヘルパーの支援が必要な方への配慮が重要だと思います。また、グループホームなど、少しの支援で生活ができる社会資源が重要と考えます。	協議の場を通じて、医療機関、障害福祉・介護事業者等との連携強化に努めるとともに、グループホームなど地域の基盤整備を進めてまいります。
5	協議の場に参加できる機会があれば参加してみたいです。	協議の場を通じて、医療機関、障害福祉・介護事業者等との連携強化に努めてまいります。
6	にも包括の構築に向けて、協議の場を積極的に開催し、連携体制を強化していただきたいと思います。	引き続きご理解、ご協力をお願いいたします。
7	新しい取組に期待します。	
8	国への対応ご苦労さまです。コロナ禍ですが、アフター・コロナを見据え、よろしく申し上げます。	
9	精神障害をはじめ、身体障害、知的障害、すべての障害者が安心して地域で生活できる支援のシステムがつけられるといいなと思いました。	にも包括の構築に当たっては、精神障害者のみならず、地域生活を営む上で支援を必要とするすべての人に対応するシステムづくりを目指してまいります。

No.	意見の要旨	区の考え方
10	精神の障害は外からわかりにくく、それゆえに理解促進が重要であると思います。地域への移行に伴う第一歩としては、住まいの確保を家族に頼らずに進められるかどうか、居住支援協議会との連携と受け皿の構築も含め、施策をすすめてほしい。	障害に対する理解促進や住まいの確保等も含めて、にも包括構築推進のための取組を進めてまいります。
11	国が進める入院医療から地域生活への移行及び地域での安心した生活は、世の中の複雑化に伴う精神障がい者の増加という現実問題として仕方ない事だと思いが、退院後ケアを充実させることが最大の課題。例えばそばに相談にのったり、支援してくれる人やピアサポーターの存在、周りの人の精神障がいに対する理解が必要だと思えます。	退院後の生活を支える相談支援等の充実を図るとともに、ピアサポート活動等の取組により、にも包括構築推進に努めてまいります。
12	ピアサポートがケアシステムに認められるのなら、障がい当事者による文化・芸術活動にも力を入れてほしい。障がい当事者にも表現活動の場を作り、それを広げていくことで、当事者に対する理解を深めていただき、偏見、差別、誤解を少しでも軽くしていけるような当事者主体の活動を育ててほしい。	ご意見について、参考にさせていただきます。障害者による文化芸術活動を支援し、社会参加や相互理解等の促進に努めてまいります。
13	無年金障がい者に対する支援も考えてほしい。生活保護ではない、地域で経済的に自立した暮らしができるようにシステムを設計してほしい。	ご意見について、参考にさせていただきます。なお、生活保護に至る前段階での自立支援を行う相談窓口として「北区くらしとしごと相談センター」があります。

令和3年度第2回 東京都北区自立支援協議会における意見と回答について

2. 生活介護施設の整備について

No.	意見の要旨	区の考え方
1	愛の手帳1・2度の方が11人卒業するから、生活介護が必要だという短絡的な考えに疑問を感じます。愛の手帳2度で、一般就労して20年も勤めた先輩もいます。手帳の度数をもとに、はめこみ式に卒業後の進路先を考えるようなことはとても寂しいです。教育による成長やみんなで支えていく考えに逆行しています。むしろB型事業所を利用していけるよう、幅のあるB型の整備をしてほしいです。	特別支援学校の卒業予定者数の推移は、生活介護の利用が想定される人数を考慮し、施設整備の必要な時期を見定めるためのものです。就労を希望する卒業生に対しては、引き続き就労に関する相談や支援を行うとともに、多様な働き方ができるよう、就労継続支援施設等における福祉的就労の充実に取り組んでまいります。
2	特別支援学校を卒業した知的障害の方々、できるだけ本人の希望した就労先や生活できる場所があるといいなと思います。	障害のある人が障害の特性や能力に応じて、希望する社会生活を送ることができるよう、就労支援及び日中活動系サービスの充実に努めてまいります。
3	利用定員超過を考え生活介護施設を増やすことはよいが、人数のことだけでなく、内容についても考えるべきだと思う。18才～70才が同じところで活動するのは、ムリがあるのではないかと。高齢となった障害者の日中活動について考えていく必要があると思う。	ご意見について、参考にさせていただきます。高齢障害者の社会参加や就労に関する多様なニーズに対応するため、引き続き日中活動の場の整備・充実に努めてまいります。
4	(就労継続)B型や就労移行、地域活動支援センターなどとは異なる通所先としての、生活介護が利用者や家族にとって持つ意味はとても大きいと思います。社会参加について、就労系・活動系などがありますが、やや重めの当事者の方たちのための社会参加の場所としての生活介護の意味合いはとても大きいので、引き続き計画がうまく進んでいくことに期待しております。	引き続きご理解、ご協力をお願いいたします。
5	生活介護施設は定員オーバー気味であり順番待ちが多い。空いている公共施設を利用することはとても歓迎なので、これからも大いに利用してほしい。	区有地等の活用も含めて、引き続き生活介護施設等の整備誘導に努めてまいります。
6	課題となっている重度障害の方の受入れ施設やマンパワーの確保は、民間法人の力をお借りするにしても、運営を安定的に確保するべく公的な保障が必要と考えます。公共施設の積極的な活用や財政支援を区単独でも行って、増設を図ってほしい。また、知的と身体を重複している方の受入れもすすめてほしい。	ご意見について、参考にさせていただきます。重症心身障害をはじめ、医療的ケアや強度行動障害等さまざまな障害に対応できる専門性の高い施設の整備誘導を、区有地等の活用も含めて検討してまいります。運営面での支援については、今後の検討課題とさせていただきます。
7	強度行動障害者に対応できる施設が増えるといいと思います。	さまざまな障害に適切に対応できる専門性の高い生活介護施設の整備誘導に努めてまいります。

No.	意見の要旨	区の考え方
8	身体障害を対象とする生活介護施設についても、特別支援学校に在籍する生徒の保護者は定員不足、利用定員のひっ迫を感じている。	身体障害者を対象とする生活介護施設についても、整備誘導に努めてまいります。
9	精神障害者の生活介護事業も必要なのではないかと感じています。病状、体力的に（就労継続支援）B型につながらない方もいますし、デイケアにも通える範囲に限りがあります。期限なくゆるやかに活動できる場は、入院を防ぐためにも必要であると感じています。	精神障害者も含めて、多様なニーズに対応した日中活動の場の整備誘導に努めてまいります。
10	私もすでに両親がいない。ヘルパーの制度を利用しているが、65歳には介護保険に切り替わるので、要介護認定が必要になり、ヘルパーが利用できなくなると言われている。なんとか継続して、支援が受けられる制度にしてほしい。孤立した老後になってしまうのは恐ろしい。	65歳以上の方は原則介護保険が優先となりますが、介護保険サービスでの対応が困難な場合等は、生活状況等や支援の必要性を踏まえ、障害福祉サービスの支給を検討しています。
11	晴山苑の場合、1日定員80名は超えていないため、利用者募集はしています。	情報提供ありがとうございます。引き続きご協力をお願いいたします。
12	何かと物足りませんが、よろしくお願いします。	引き続きご理解、ご協力をお願いいたします。

令和3年度第2回 東京都北区自立支援協議会における意見と回答について

3. 地域生活支援拠点等の整備状況について

No.	意見の要旨	区の考え方
1	拠点等の考えに疑問を感じます。障害者本人の側から考えているとはとても思えません。行政が必要と思われるものを、拠点として考えているところに詰め込んでいるとしか考えられません。本人が生活する場であり、自分たち、自分なりの場をつくっていききたいとき、緊急の人が入ったり、体験の人が入ったりと、めまぐるしい状況が続くこととなります。なんでもかんでも入れ込んでいくなんて、とても寂しいです。	区では、すべての機能を集約した施設を整備する「多機能拠点整備型」ではなく、複数の機関が分担して機能を担う体制の「面的整備型」による整備を目指すこととしております。ご意見については、今後の拠点等の運用状況を検証・検討する際の参考にさせていただきます。
2	緊急時および地域移行用の短期入居用の居室が整うことは非常に重要なことだと感じました。この手の入居用施設は、障害者総合支援法のサービスで費用を給付費で賄おうとすると、非利用時のコストをどう負担するかという問題があり、なかなか運営がうまくいかないことも少なくないので、行政が運営も含めて協力することに意味があると思います。	拠点等の運営が安定的・継続的に行われるよう、整備主体たる区においては拠点等の運営や活動に対する評価を定期的に行うなど効果的な取組の充実を図ってまいります。
3	現状の問題として重度心身障がい者を受け入れる施設が少なく、「面的な整備」に頼らざるをえなく、家族の負担になっている。異なる専門性を持つ事業所間の連携、地域ごとに障がい別に対応し、全体をカバー出来るように連携する。障がい種別に事前登録制にしてはいかがですか？	障害種別や地域にかかわらず、誰もが利用しやすい拠点等となるよう、構成機関の充実に努めてまいります。なお、拠点等の機能を担う事業所は事前に協議会での報告・検討を経て、登録することとしております。
4	コロナ禍のみならず、介護者が病気やケガ等の治療のため介護が困難となった場合にも、医療的ケアの必要な方も含めて在宅要介護者を緊急一時的に施設で受け入れ、必要な介護を行って欲しいと思います。	引き続き障害者（児）緊急一時保護事業等の充実に努めてまいります。
5	主たる介護者の高齢化がとても気になっています。家族と離れた生活を体験する場はとても大切だと思います。また、一人暮らしを目指すための練習の場として活用できると良いと感じました。	体験の機会の提供を通じて、親元からグループホーム、一人暮らし等への移行をしやすくできるよう、拠点等の機能の充実に努めてまいります。
6	体験の機会の場の利用状況や利用中の様子などを聞いてみたいです。	引き続き自立支援協議会において、拠点等の機能の充実のため、運用状況の報告・検討を行ってまいります。
7	運営の実態がわからないので、来年度運営状況の報告を待ち、意見をのべたい。	
8	医療的ケア児への取組も強めましょう。よろしく願います。	拠点等の整備とあわせて、医療的ケア児等コーディネーターの配置など、医療的ケア児・者に対する総合的な支援体制の構築に努めてまいります。

No.	意見の要旨	区の考え方
9	6年間グループホームで生活していました。困ったことがあればすぐに話を聞いてもらえるなど安心しましたが、共同生活なので他の入居者に気がつかってしまい、ストレスを感じてしまいました。可能であれば、アパートのように一人ひとり各部屋にトイレとお風呂が付いた、独立型の知的障害者のグループホームが増えたらいいなと思いました。	ご意見について、参考にさせていただきます。集団生活が苦手な方や将来一人暮らしが見込まれる方のニーズを踏まえ、より単身での生活に近いアパートタイプの形態も含めて、グループホームの整備誘導に努めてまいります。
10	緊急一時やショートステイ、宿泊訓練の他、グループホーム以外にも、保護者関係者から要望の強い入所施設について、区内の整備をすすめてほしい。	入所施設による支援が必要な人のニーズを踏まえ、区内への社会福祉法人等による入所施設の整備誘導を検討してまいります。
11	大規模収容施設はிரらないし、作らないでほしい。最近では、営利企業によってグループホームが運営、投資対象となって大型化し、障がい者を管理して、大規模収容施設のようになってきたと聞いている。そもそもグループホームは施設に入所したくない障がい者の最期の砦だったはずである。拠点の整備をするとき、非営利団体を中心に選んで、慎重に選定してほしい。	ご意見については、参考にさせていただきます。拠点等に求められる機能を有する事業所・機関については、事前に協議会の報告・検討を経て選定してまいります。
12	グループホームや生活寮等は今や最重要課題ですが、地域の体制づくりが特に大事だと思います。	各拠点等の機能を活かし、地域のさまざまなニーズに対応できるサービス提供体制の確保に努めてまいります。
13	コロナ感染症対策へのご尽力にも感謝申し上げます。障害者施設の入所者、通所等利用者の方々は、重度化リスクの方々にて、通常平時からの従事者の定期的PCR検査の実施や、当事者も含めて、ワクチン優先接種等すすめてほしい	区では、障害者グループホーム等従事者に対する定期的PCR検査や、通所・訪問系事業所従事者（通所系事業所は利用者も含む）に対する緊急的PCR検査を実施しております。また、通所系サービス事業所の利用者及び従事者に対して、ワクチンの集団接種事業等を実施するなど、速やかな3回目接種に努めております。
14	最近の新聞に障害者のみとりについての記事が目につきました。少子高齢時代というのは、こういうことなのでしょう。	少子高齢化時代においても、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、拠点等の整備に努めてまいります。